

日本の物作り経験を活かし、 日本の製造業を支援する御案内 (安心できる外注先チーム)

2020年 6月 2日

遼寧省工商聯文化創意産業商会
加工製造専門委員会

「遼寧省工商聯」傘下の「加工製造専門委員会」の目的

日本側

部品などの製造を依頼したいが、品質、納期、金額、手続き、言葉、などなどの心配が多く、海外の企業に依頼できない

中小企業なので、人材も少なく、受注のチャンスは有るが、受注できる規模に限界が有る

中国企業に依頼する場合、コストが高くなったと聞いており、また心配な事も多い

多品種少量のため、委託できる会社が見つからない

中国側

日本企業から依頼される部品製造などを担当していたので、経験も有り、設備や人材も居るが、日本側との営業体制が無いため、注文を受けるチャンスが無い

得意分野では無い注文が来た時は、自社だけでは対応でき無いため、受注のチャンスを逃している

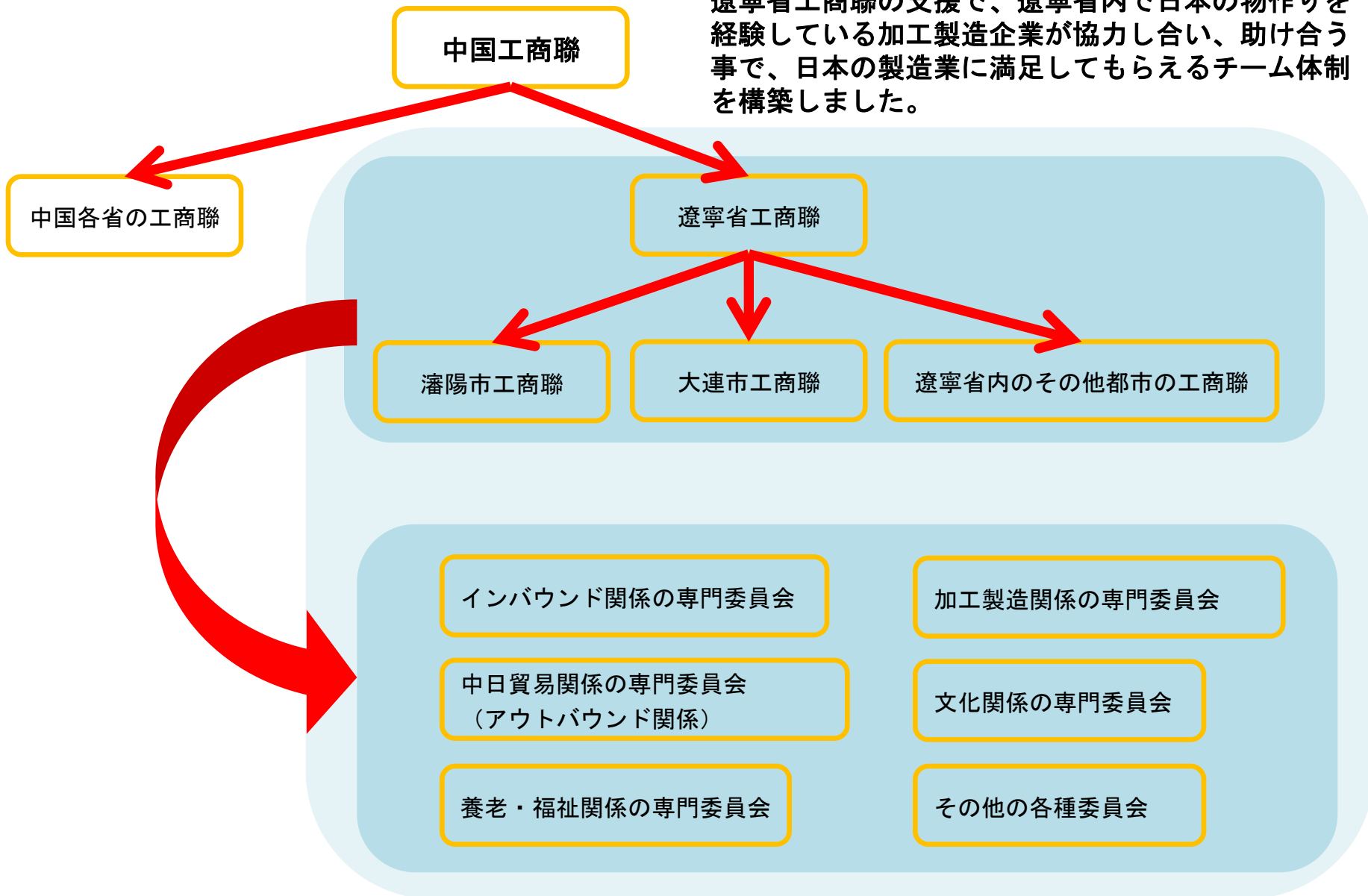
中国の製造関係に関するコストは上がっているが、発展した都市に比べ、まだまだコストが安い地域が沢山有るのに、日本側の企業は知らない
(中国は広く、都市によって、コストが全く異なる)

1 社単独では限界が有るが、多くの会社が協力して助け合う事で、沢山の問題を解決する

- 中国の習慣だった企業単独対応ではなく、「特徴が有り、経験が有り、信頼できる企業」達が、協力し合い、助け合う事で、日本の企業様に満足していただける結果を出し、結果として日本側と中国側の双方が発展でき事を望んでおります。(遼寧省工商聯文化創意産業商会、加工製造専門委員会)

「工商聯」及び「各種専門委員会」の関係概要

遼寧省工商聯の支援で、遼寧省内で日本の物作りを経験している加工製造企業が協力し合い、助け合う事で、日本の製造業に満足してもらえるチーム体制を構築しました。



「日本顧客」と「加工製造専門委員会」の流れ概略

日本側

日本顧客

中国側

日本製品中国市場販売支援会
(日本語で、日本側との連絡窓口を担当)

- ・日本製品中国市場販売支援会に関する情報などは、本資料の後半で紹介しています

- ・物流などなど、関連する業務の支援対応
- ・その他、費用送金などに関連する支援対応

遼寧省工商聯文化創意産業商会
「加工製造専門委員会」

- ・日本顧客の要求に最適な企業へ要求を連絡して対応する企業を選定
- ・問題があった場合の指示対応
- ・その他、全般の指示対応

マシニングセンター企業

旋盤企業

放電加工企業

研磨企業

品質検査企業

その他企業

「遼寧省工商聯文化創意産業商会」

1. 遼寧省工商聯文化創意産業商会とは

- (1) 中華全国工商連合会は、1953年に設立した共産党が指導する人民団体と民間商会で、中国人民政治協商会議の構成組織で、その傘下の「遼寧省工商聯文化創意産業商会」（以下「商会」）は、遼寧省内の対外開放や民間外交の重要な組織で、主管項目は以下の通りです。
 - ①国の政策や民主的監督への参加
 - ②工商会に代表として参加し、政治の推進業務を担当
 - ③会員の正当な権利と利益を保護
 - ④貿易経済に参加
 - ⑤政府から依頼される項目の担当
- (2) 各等級（地域レベル）により、「全国工商聯」、「省工商聯」、「市工商聯」、「区工商聯」に分割されています。
- (3) 「商会」は、遼寧省工商聯直属の社団組織で、2016年11月に設立しました。
- (4) 中国国内の各省の「商会」に所属しており、瀋陽市、大連市、鞍山市、鉄嶺市、遼陽市、営口市、阜新市、丹東市、葫芦島市、撫順市、朝陽市などなど、遼寧省内の各都市に支部があります。
- (5) 政府と民間の間に位置し、政府の指導に基づき、民間企業の発展を支援する団体組織です。
- (6) 民間企業の提案などを吸い上げ、政府に提案して交渉するなど思っている団体組織です。
- (7) 支援する内容を強化するため、加工製造、教育、健康、人材、飲食、ビジネス・インキュベータ、マイクロ公共福祉、ダブルイノベーション基地、バーター貿易、物流、観光、農業、科学技術と環境保護、ビジネス、金融、法務、文化、建築の装飾、越境EC、他、各分野毎に特別委員会を設立しています。
- (8) 外国との業務も発展させるため、日本、韓国、モンゴル、北朝鮮、タイ、イギリス、イスラエル、マダガスカル、ナイジェリア、カナダ、マレーシア、ロシア連邦、アラブ首長国連邦など、貿易特別委員会と各事業組織には、合計2,600名を超える会員がいます。
- (9) 設立から3年を経て、「商会」は遼寧省工商聯の指導や支持を得て、会員に良いサービスを支援しているため、政府各部門からも重視されています。

「加工製造専門委員会」

2. 遼寧省工商聯文化創意産業商会の傘下の「加工製造専門委員会」とは

- (1) 「加工製造専門委員会」の主要な職務は、「商会」によって割り当てられた様々な仕事を執行し、傘下の会員企業の需要と供給をサポートすると共に、会員企業同士を連携することで、生産力や競争力を高め、地域の経済発展に貢献する事です。
- (2) 「加工製造専門委員会」には400社以上の会員企業が有り、さまざまな加工設備も数万台所有しています。その設備の総投資額は約30億元にもなり、年間の生産額は50億元以上で、従業員の総数も9,000人以上です。
- (3) 対象となる加工分野は、鑄造、鍛造、溶接、スタンピング、樹脂射出成型、ブロー成形、熱処理、表面処理、各種機械加工、各種特殊加工（レーザー加工、放電加工）などなど、ほとんどの分野に対応しています。
- (4) 製品としては、航空宇宙、車両、船舶、石油化学、民間医療などなど、あらゆる分野の製品です。
- (5) 製造以外にも、人材派遣、技術のサポート、治工具の設計と製造、さまざまな金型の設計と製造、生産工程設計、生産工程改善プログラムなどなどをお客様に提供しています。

3. 日本の企業様が「加工製造専門委員会」を活用するメリット

- (1) 加工能力：本専門会の会員企業の70%が、既に日本企業に加工製品を提供しており、製品の品質、テスト、加工レベルなどなど、日本の企業様が安心できる加工を提供しています。
- (2) コスト：日本側と中国側の間には、余分な仲介企業が入らないため、コストを抑えられます。
(本「商会」には、物流企業や貿易手続き企業も有るため、色々な面のコストを抑えられます。)
- (3) 注文：多品種少量でも、多品種多量でも、どのような注文にも対応させていただきます。
- (4) 信用：本「商会」の会員企業が対応するため、常に「商会」が監督管理を行っていて、信頼性に問題がある場合は、すぐに対処（対応）します。（問題があれば、日本と同様な対応を行います。）
- (5) 材料：日本の企業様から指定された材料を使用しますし、中国側の材料で良い場合は、本「商会」の傘下の材料販売企業から材料を調達できるので、安価で良い材料を使用する事も可能です。
- (6) その他：日本の企業様は、400社以上の信頼できる加工企業を活用する事が出来ます。

4. 「加工製造専門委員会」の傘下企業が所有する設備概要

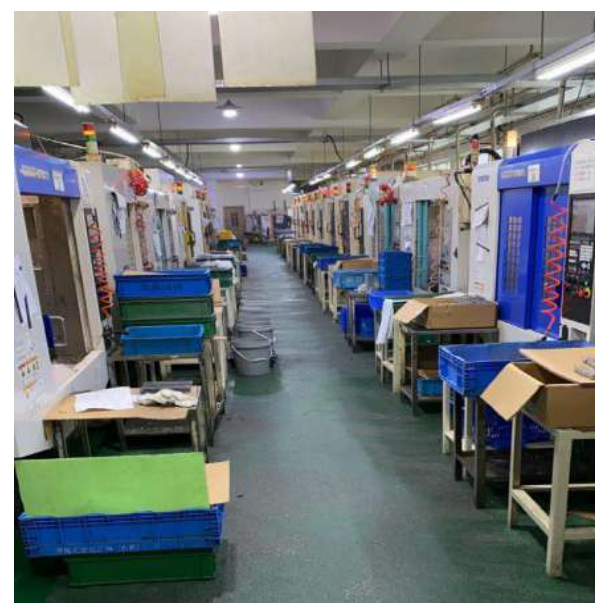
(1) 門形マシニングセンター	: 約	30台
(2) マシニングセンター	: 約	1,500台
(3) CNC旋盤	: 約	1,500台
(4) 普通旋盤	: 約	300台
(5) 円筒研削	: 約	100台
(6) CNC円筒研削	: 約	50台
(7) 表面研削	: 約	500台
(8) ワイヤークット	: 約	200台
(9) 放電加工	: 約	200台
(10) フライス盤	: 約	300台
(11) 深穴ドリル	: 約	20台
(12) 自動送り小型CNC旋盤	: 約	200台
(13) 鋳造機	: 約	500台
(14) アルミ鋳造機	: 約	450台
(15) 押出機	: 約	150台

上記の設備以外にも、さまざまな加工設備が有ります。

5. 「加工製造専門委員会」の傘下企業の職場写真例（一部）



5. 「加工製造専門委員会」の傘下企業の職場写真例（一部）



「加工製造専門委員会」

アルミダイキャスト関係



圧縮成型関係



「加工製造専門委員会」

押出成型関係



レーザー切断関係



「加工製造専門委員会」

砂鑄造作業場關係



鑄造炉作業場關係



品質検査室關係



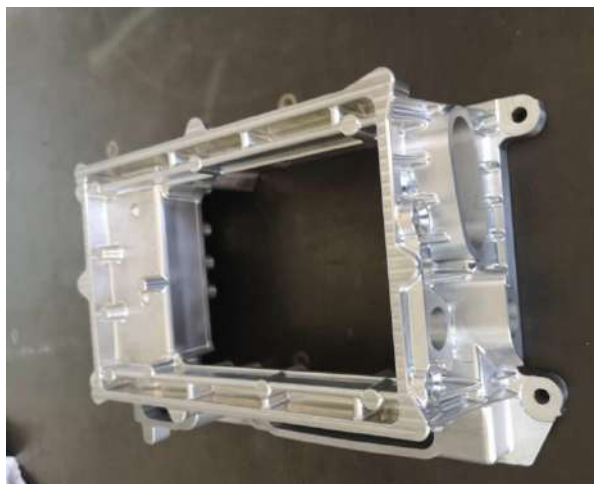
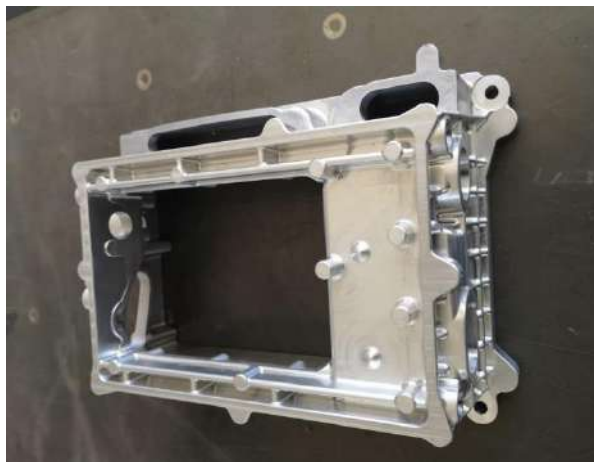
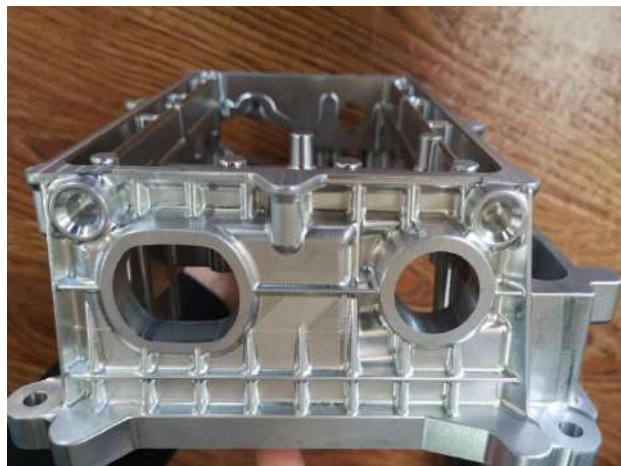
精密鑄造製品関係



押出アルミ製品関係



実物製品関係



6. 「日本製品中国市場販売支援会」の位置付け

(1) 役割

「日本製品中国市場販売支援会」は、日本と中国の間に入り、日本のインバウンドやアウトバウンドなどなど、色々な分野で支援をしており、本「商会」の日本窓口としても支援をしているため、今回の「加工製造専門委員会」の日本窓口としての役目も依頼され、全面的にサポートする事となりました。

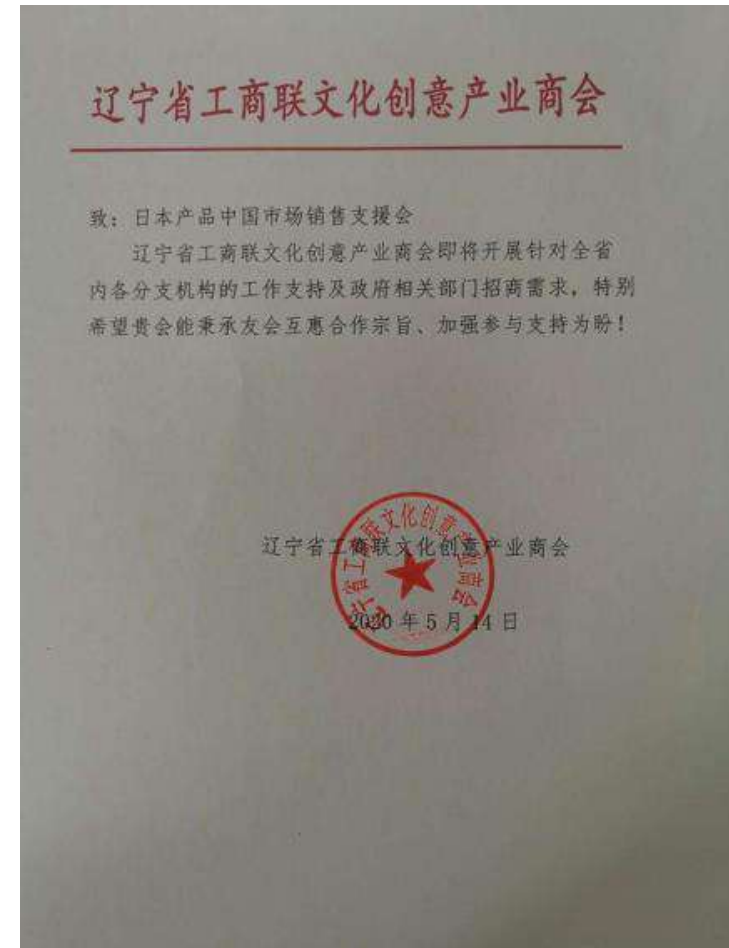
(2) 支援概要

- ①日本側と中国側の翻訳及び通訳などを担当。
- ②日本側と中国側の連絡窓口を担当。
- ③中国企業との取引が初めての日本企業や、日本企業が抱える不安な問題の相談窓口を担当。
- ④物流や費用支払いなど、各種のサービスを担当。
- ⑤日本企業に対し、日本品質の加工製造サービスを提供。
- ⑥日本企業に対し、高品質で低価格な原料仕入れサービスを提供。
- ⑦日本企業に対し、人材派遣や人材教育サービスを提供。
- ⑧日本企業に対し、業界情報のコンサルサービスを提供。
- ⑨その他

(3) その他

本「商会」の全ての分野で、日本側との窓口支援を担当しますが、まずは、「加工製造専門委員会」の業務支援と、越境ECをメインとした「アウトバウンド」支援から開始。

遼寧省工商聯文化創意産業商会からの依頼状



日本と中国がビジネスを行う場合、お互いに習慣や考え方が異なるため、特に日本の中小企業にとってはハードルが高く、なかなかチャレンジする事が困難であった。

これらの問題や悩みに対して、気軽に相談に乗り、少しでも解消できる実務支援団体が「日本製品中国市場販売支援会」です。

1. 2015年に大連（中国）で設立した「日本製品中国市場販売支援会」（以下「支援会」）は、日本と中国の間で双方のビジネスを支援するボランティアの民間支援団体として設立。
2. 「支援会」が双方の役に立つためには運営する側の人が必要なため、下記のメンバーで構成。
 - ・「日本を良く理解している中国人（日本での生活・就業経験者）」で、多くの中国人人脈が有る人。
 - ・「中国を良く理解している日本人（中国での生活・就業経験者）」で、多くの日本人人脈が有る人。
3. 「支援会」の今までの活動概要は以下の通り。
 - ①アウトバウンド支援
（「一般貿易」と「越境EC貿易」の両方で、商品販売に関する日本企業と中国企業のマッチング）
 - ②インバウンド支援（訪日中国人観光者への地方観光誘致）
 - ③人材支援（人材を募集している日本企業への人材派遣企業の紹介－技能実習生派遣企業の紹介も）
 - ④製造支援（部品・製品・機械製造などなど、多品種少量でも安心して依頼できる企業の紹介や実務支援）
 - ⑤調達支援（原材料や農作物などなど、調達したい物の調査や手配と、物流なども含めた実務支援）
 - ⑥コンサル支援（商標登録代行，会社設立代行，中国で売れる商品にする為のアドバイス，その他）
 - ⑦その他（コストパフォーマンスの良いソフト開発やホームページ作成，言語翻訳，その他）
4. 「支援会」のホームページでは以下の情報を都度発信。
 - ①中国と日本では、習慣や考え方が異なるので、その概要を紹介。
 - ②中国の新しい取り組みである「越境EC」などに関する内容を紹介。
（良く法律が変わるので、実際に実施して内容をまとめ、情報を都度更新）
 - ③「支援会」が主催した活動の紹介など。（中国企業の日本商品買付出張報告概要など）
 - ④中国で開催される「展示会」などの情報を紹介。
 - ⑤その他

連絡先・問合せ先

●中国に関する最新情報の確認など、お気軽にご相談ください。

(参考サイト：<http://www.jpccs-dl.com/>)

日本側との連絡窓口者

氏名：「白石 久充」(日本製品中国市場販売支援会「会長」)
(現職：大連毅信軟件有限公司「総経理」)

携帯：(+86) 13904110159 (日本語)

メール：shiraishi@e-trust.com.cn (日本語)
shiraishi@tios.co.jp (日本語)

中国側との連絡窓口者

氏名：「孫 吉斌」(日本製品中国市場販売支援会「副会長」)
(現職：大連利衆日通国際貿易有限公司「総経理」)

携帯：(+86) 15998540888 (中国語)

メール：sunji_bin@163.com (中国語)